

福山市立高島小学校スタートカリキュラム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
期	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ						
育てほしい児童の姿	安心	【4月当初の児童の姿①】 ・小学校生活への期待感を もっている。 聞く全体での話や指示が分 からないことがある。 話す困ったことや、不安なこ とを言葉で伝えることが難 しいことがある。 挨拶自分から挨拶できない ことがあり、新しい環境に不 安感がある。			【育ってほしい児童の姿②】 担任、友達、担任以外の先生との関わりを通して、安心 感を持ち、自己開放する。(安心) →自分の居場所を見つけたり受け止めてもらえたりする ことで、気持ちが安定し、安心して思いを伝えようとす る。 聞く先生や友達の話に興味をもって、最後まで聞こうとする。 話す困ったことを担任に伝えようとする。 思ったことや考えたことを自分の言葉で伝えようとする。 挨拶いろいろな挨拶の仕方を知り、進んで挨拶しようとする。			【育ってほしい児童の姿③】 たくさんの友達や上級生との関わりを通して、安心感を持ち、 自己表現する。(安心・成長) →表情やしぐさ、動作、言葉などで自分の思いを伝えようとする。 聞く先生や友達の話に興味をもって、最後まで聞こうとする。 話す困ったことを友達や担任以外の先生に伝えようとする。 ペアやグループで話し合う中で、自分の考えを進んで話したり、友達の考え に感想を伝えたりしようとする。 挨拶だれに対しても自分から進んで挨拶しようとする。			【育ってほしい児童の姿④】 たくさんの上級生や地域の人との関わりを通して、自信をも ち、自己発揮する。(成長・自立) →場面に合わせて自分の思いを一番適切に表現する方法を選 んだり考えたりしながら、自分の思いを伝えようとする。 聞く相手の気持ちを最後まで聞く。 話す相手意識をもって話す。 ペアやグループで話し合う中で、友達に分かりやすいように話した り、友達の考えを受け入れたりしながら、考えをまとめる。 挨拶挨拶のよさを感じながら、だれに対しても自分から進んで挨拶する。			【1年生の終わりまで に育ってほしい児童 の姿⑤】(2学年に向け て育ってほしい児童の 姿) 多くの人の支えに気付き、自 分と友達のよさを実感しなが ら、自分らしさを自覚し、自 己有用感を高める。(自立) →自分のよさや可能性に気付 き、自信をもって意欲的に発 信しようとする。		
	成長															
	自立															
生活科を中心とした単元構成	がっこうだいすき！ともだちだいすき！せんせいだいすき！ 「ともだちとなかよくなろう」「がっこうとなかよくなろう」(生) 「なんていおうかな」「どうぞよろしく」 「おはなしたのしいな」「あつまってはなそう」(国) 「10までのかず」(算) 「どんどんかくのはたのしいな～すきなもののなあに～」(図) 「あかるいあいさつ」「はりきりいちねんせい」(道) 音楽室には、 たくさんの楽器 があったよ。 失礼します。学校探検に きました。			しぜんだいすき！ 「いきものとなかよくなろう」「はなややさい おおきくなってね」(生) 「つうがくろでみつけたよ」「なつはおもしろいことがいっぱい」(生) 「おおきくなった」「こんなことがあったよ」「しらせたいな みせたいな」(国) 「あわせていくつ ふえるといくつ」「のこりはいくつちがいはいくつ」 「あわせていくつ ふえるといくつ」「のこりはいくつ ちがいはいくつ」(算) 「ひょうげんリズムあそび」「水あそび」(体) 「みんなあかちゃんだったよ」「げんきでね、あげはくん」(道) 「杏の収穫」(6年生と)(外) バックのお腹は柔ら かいよ。足がギザギ ザしているよ。			おいでよ！あきのテーマパーク！ 「あきをみつけよう」「たのしいねあきのあそび」 「ようこそあきのテーマパークへ」(生) 「てがみでしらせよう」(国) 「10よりおおきいかず」「なんじなんじはん」 「かたちあそび」「たしざん」「ひきざん」(算) 「がっきとなかよくなろう」(音) 「はこでつくったよ」「たいせつボックス」(図) 「じゃんけんぼん」(道) うまくできたこ とを、だれかに おしえてあげた いな。			ありがとうが いっぱい！ 「かぞくだいすきだよ」「もうすぐ2年生」(生) 「いいこといっぱい1ねんせい」(国) 「20より大きいかず」「たしざんとひきざん」 「かたちづくり」(算) 「みんなであわせてたのしもう」(音) 「ボールゲーム」(体) 「大すきだから」「二わのことり」(道) お手伝いを 続けて頑張 っているよ。						
	仲良し班での交流 →1年生を迎える会や仲良し朝会など、様々な学年の友達と触れ合うことで安心感につなげる。			幼保小連携を4月、8月、3月に行う(交流活動の事前打ち合わせ及び反省、情報交換)。 ・4月には、児童の様子を参観してもらうことで、児童に安心感を持たせる。 ・8月には、田尻こども園・鞆こども園に2グループに分かれて出向き、保育体験を行うことで園での様子を知る。 ・2月には、来年度入学児童の交流を行い、園児の様子を知る。			おいでよあきのテーマパーク →1年長児を招待することで、自分たちがお手本になるという自覚を持ったり、優し く接したりすることができるようにする。			体験入学 →たじりこども園と鞆こども園を中心に、入学予定 の園に声をかける。						
	人 ・児童と一対一で関わる機会を多くもち、まずは1年担任が何でも話せる存在になる。 ・他の園から入学してきた友達と交流できるような学級レクやSGEを行う。また、 それらを通して、自己開放することができるようにする。 ・複数の教員で児童と関わる体制をつくることで、安心できるようにする。 (特に養護教諭・栄養教諭・なのはな学級担任、専科とのつながりを深める。) ・2年生、6年生との交流活動を通して、頼りになる上級生の存在に気付かせる。			もの ・片付ける場所や片付け方が分かるように、写真や 絵カードを活用する。 ・分かりやすく話を聞けるようにするために、実物 や電子黒板、実物投影機を用意する。 ・活動や話を始める合図(聞いて等)として、手遊 びを用いる。			空間 ・児童の動線を考えた教室配置にする。 ・児童の目の高さに合わせた掲示物コーナーに する。 ・生活科コーナーや国語コーナーを設置する。 →図鑑やお気に入りの絵本、自然物など ・自由に絵を描いたり工作したりできるように する。			人 ・縦割り班を通して、他学年の知り合 いを増やす。 ・国語や生活で学んだことを他学年や 教職員に発表することを通して、交 流を増やす。 ・「ようこそあきのテーマパークへ」に 年長児を招待することで、2年生に なる期待感や自覚を持つ。			空間 ・グループ席以外の様々な形式で 学習する。 ・生活科コーナーを設置する。 →秋の自然物や本など			
環境構成(人・もの・こと)																
	○時間の工夫 ・園での生活リズムに合わせて、ゆったりとした朝の時間を工夫する。 ・1時間を必要に応じて教科横断的な学習を展開する。 ・生活科や図画工作等は、2時間続きにして、じっくり活動できるようにする。 ・担任の手本を見ながら、朝の用意や給食の用意、掃除の仕方を覚える。			○連休明けの配慮事項 ・朝の会や帰りの会でミニゲーム、SGEを行うことで、学校に来ることへの楽しさを味わう。 ・子どもたちの表情を見ながら、時間を区切ったり活動内容を変更したりしながら、学校に来ることに慣れる。			○夏休み明けの配慮事項 ・4月当初と同じようにゆったりとした朝の時間を工夫し、友達や先生と 触れ合う時間を十分にとる。			○来年度に向けて ・全教職員の共通理解を図り、受け入れ体制を整え る。 ・連絡協議会において、活動内容を検討する。(1月 ～2月の間に行う。)						
	・入学に対する保護者の不安を受け止め、1年間の活動内容や方針、予想される児童の様子を具体的に知らせ、学校と同じ方向性で取組ができるようにしていく。 ・通信に目指す子ども像を示したり、児童の写真を掲載したりして、保護者に学校のことについて理解してもらう。(写真から読み取れる児童の気持ち、教師のねらいと意図) ・通信に児童の困っている様子(トイレ、給食など)を伝えることで、早い時期から困り感を共有する。 ※特に1学期は、時間割等を知らせるため、通信を週1回出し、こまめに保護者と連絡を取り合い、信頼関係を築いていく。			・安心して学校生活を送るためには生活リズムを整えることが大切であることを伝 え、協力をお願いする。 ・行事にむけての日々の取組の経過を伝え、児童の考えや気持ちの揺れを保護者と 共に共有し、共に認め励ましていくことで、一人一人が自信をもてるようにし ていく。			・1年間の成長を発表する会に向けて、内面的に成 長した部分を中心にほめてもらえるように伝え る。									
家庭との連携																